

「大学院における高度科学技術人材の育成強化策 検討ワーキング・グループ」最終まとめ（案）

目次

はじめに	1
1．現在の状況および将来の展望	1
1) 少子化を克服する人材育成	1
2) 技術の統合による高度化	2
2．人材育成についての検討状況	2
3．本ワーキング・グループの考え方	3
4．本ワーキング・グループでの検討の状況	3
検討の目的（課題認識）	5
1．大学院を取り巻く環境変化	5
(1) 社会（産業界）からの指摘	5
1) 入学・在学の状況	5
2) 人材育成目的	5
3) 教育プロセス	5
4) 進路指導	6
5) 質の保証	6
(2) 大学院に係る諸施策（法人化、多様化促進、 大学院教育の実質化ほか）	6
2．より良い大学院教育を目指して	8
(1) 大学院内（システム、教員、院生）の改革	8
(2) 大学院と社会（産業界）との相互理解増進	8
(3) 大学院修了者に対する意識調査	8
修士課程大学院教育の現状と課題	9
1．現状と課題	9
(1) 規模	9
(2) 入試選抜	12
(3) カリキュラム	13
(4) 成績査定	17
(5) 修了要件	17
(6) 個別教員の教育能力および教育業績の評価	20

2．課題解決に向けて	2 1
（1）社会、産業界からの指摘への対応	2 1
（2）課題解決に向けての提言	2 1
1）「体系的コースワーク」設定の加速	2 1
速やかな実施	2 1
必須科目の充実	2 1
外部への公表	2 2
2）伝承型から体系型への教育プロセスの変換	2 2
3）質の確保	2 2
国際的通用性の確保	2 2
成績査定の適正化	2 2
4）政策の一体的推進	2 3

博士（後期）課程大学院教育の現状と課題	2 4
---------------------	-----

1．現状と課題	2 4
（1）規模	2 4
（2）入試選抜	2 6
（3）教育プロセス	2 7
（4）教員の教育力の認定および教育努力（成果）の評価	2 9
（5）学位の質保証	2 9
（6）T A：教育能力の醸成と検証	3 0
（7）博士（後期）課程学生からみた大学院の教育プロセス	3 2
2．課題解決に向けて	3 5
（1）社会、産業界からの期待	3 5
（2）課題解決へ向けての提言	3 5
1）博士論文研究の各段階における審査制度の推進	3 5
2）T Aの制度化の検討	3 5
3）インターンシップ制度の推進	3 6
4）博士学位の質保証	3 6

今後の展開（課題解決に向けた提言）	3 7
-------------------	-----

1．内閣府に対して	3 7
（1）「産学官の相互理解を深める常置体制」を新たに構築（修士・博士共通）	3 7
1）産学官の相互理解の促進	3 8
2）各種施策の進捗状況の確認と施策提言	3 8

2. 文部科学省に対して	38
(1) 大学院教育改革の進展状況の検証と公表 及び「共通プラットフォーム」の構築（修士・博士共通）	38
1) 教育改革に関する進捗状況の公表	38
2) 「共通プラットフォーム」の構築	38
(2) 「国際的通用性」をもった「体系的カリキュラム」の 充実加速（修士・博士共通）	39
1) 進捗状況の公表	39
2) 教育改革プログラム「組織的な大学院教育改革 推進プログラム」等の展開	39
(3) 学生の社会的自立を促す経済支援の充実（特に博士課程）	39
(4) 教員の教育活動の充実強化及びその努力、 成果の適切な評価（修士・博士共通）	39
1) 教員の教育成果に関する評価手法・システムの構築	39
2) TAの制度化の検討	39
(5) 「国際的通用性」をもった大学院修了者の「質の保証」 システムとその評価の公表（修士・博士共通）	40
1) 「国際的通用性」を保証する制度設計	40
3. 各大学院に対して	40
(1) 「共通プラットフォーム」を活用した情報の発信 （修士・博士共通）	40
(2) 「国際的通用性」をもった「体系的カリキュラム」 設定の加速（修士・博士共通）	40
(3) 組織の責任の下での進路指導（修士・博士共通）	40
(4) 学生の自立を促す大学独自の経済的支援の充実（修士・博士共通）	41
(5) 教員の教育活動の充実とその適切な評価の実施（修士・博士共通）	41
(6) 「国際的通用性」をもった大学院修了者の質保証への取り組み （修士・博士共通）	41
4. 産業界に対して	41
(1) 産業界のニーズを踏まえたカリキュラムの充実支援 （修士・博士共通）	41
(2) 学生の自立を促す進路指導への協力（修士・博士共通）	41
(3) 企業への就職を希望する学生に対する経済的支援の促進 （修士・博士共通）	42
(4) 大学院修了者の「質保証システム」への協力と就職活動に おける大学院教育への十分な配慮（修士・博士共通）	42

1) 大学院修了者に求める資質・能力にかかる情報発信	4 2
2) 就職活動に関する企業の倫理憲章の徹底化と博士課程 修了者の適切な処遇	4 2
5. 学生に対して	4 2
(1) 将来の進路(修士・博士共通)	4 2
(2) 社会的自立(修士・博士共通)	4 2